

おだがいさま

ODAGAISAMA

116号
令和7年
2月1日発行



地域を元気に! ゆめっくりフレンズ☆の活動 GO

- ①春のクリーン作戦 ②初夏の青色駐車場ペンキ塗り ③福祉施設訪問に合わせたプレゼント製作
④西部児童館夏祭りのお手伝い ⑤西部児童館での集合写真 ⑥クリスマス福祉施設訪問



「ゆめっくりフレンズ☆」は、鶴岡西部児童館を拠点に、子どもたちが自ら進んで参加するボランティア活動グループです。小学1年生から中学生までの子どもたちが力を合わせ、地域（第6学区）の中で活躍しています。

活動内容は、クリーン作戦や青色駐車場の塗り替え、児童館のイベント企画や準備、さらには、地域の一人暮らし高齢者宅や福祉施設への訪問まで多岐にわたります。年間を通して、地域の方々に喜んでもらえるような活動を楽しみながら行っています。

12月には、地域内のデイサービスセンターを訪問し、お年寄りの皆さんと一緒にジェスチャーゲームを楽しんだり、子どもたちが手作りしたプレゼントを贈ったりと、笑顔あふれるひとときを過ごしました。

「ゆめっくりフレンズ☆」の活動は、さまざまな体験を通して子どもたちがさらに成長するきっかけになることはもちろん、地域の中に元気をもたらす大切な役割も果たしています。

年頭のご挨拶



会長 山本 知也

新年、あけましておめでとうございます。昨年中は私共が掲げる「おだがいさまのまちづくり」の活動に多くのご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

皆様には穏やかな新年をお迎えになられたことと存じますが、昨年を振り返ってみれば元旦の能登半島地震にはじまり、七月の庄内最上の大雨災害、九月には大雨が再び能登半島を襲うなど、災害の年となりました。

本市からも多くのボランティアさんが被災地へ赴き、支援活動に従事していただきました。ここに深く感謝申し上げます。また、当社協も現地の災害ボランティアセンターに職員を派遣してお手伝いをさせていただきました。被災された方々が、一日も早く以前の日常を取り戻すことができるよう、そして、今年こそは災害のない穏やかな年であってほしいと願うばかりです。

鶴岡市社協は、今年も役員が一丸となって、皆様と一緒に「おだがいさまのまちづくり」を進めるとともに、より良い福祉サービスを提供できるよう全力を尽くして参ります。今年一年が皆様にとって良い年でありますようお祈りいたします。本年もどうぞよろしくお願いたします。

次世代を担う中学生と地域をつなぐ

藤島の未来を考える 福祉学習

VOICE

参加者の声

(一部抜粋)

藤島への愛着がわく

藤島に人を集めるためにどうしたらいいか、藤島の良さをどう生かすかを考えられた。自分もできることをしたい。地域の人たち大好き。(中学生)

今住んでいる人の幸せ

人口を増やす案が多かったが、現実には難しい。そのため、今住んでいる人たちが住みやすくなるためにどうしたらいいのかも一緒に考えてほしい。(地域)

今の暮らしの裏側

地域の生産者の考えや意見を聞き、様々な苦労があつて、私たちの手に届けられていることを知った。インターネットでは入手できない体験、経験、話を聞かせてもらった。(中学生)

子どもたちの案を実現!?

子どもたちの柔軟な発想が刺激になった。子どもたちが発想した案を、実際に自分のところでやってみようと思った。(地域)

芽生える福祉でまちづくり

福祉は「みんなが幸せに暮らせる環境づくり」だと思った。藤島に住む人が「この藤島に住んでよかったな」と思えるまちづくりを人任せではなく、自分から行動に移して理想を叶えたい。(中学生)

藤島中学校三年生を対象に、地域の農業、飲食業、商業、福祉関係、行政機関の方々と共に、『藤島の未来を考える』ワークショップを開催しました。当日は、慶應義塾大学先端生命科学研究所の方々からボランティアでのご協力いただきました。生徒の皆さんは地域の方々から仕事の大変さや充実感などの話を聞き、地域の方々も生徒の皆さんの考えを聞くことで、地域の未来について共に考える有意義な時間となりました。今後市社協では、「ふだんの暮らしのしあわせ」を学ぶ福祉学習の機会を増やしていきます。

普段の暮らしの中にある「ふくし」を学ぶ



中学生から地域の方へ様々な質問ができました



中学生ならではの様々な発想ができました



グループごとに話し合った考えをまとめて発表しました



鶴岡市社会福祉協議会 福祉のつどい を開催しました

11月12日、鶴岡まちなかキネマを会場に、5年ぶりに「福祉のつどい」を開催し、市民の方々や関係者など106名にご参加いただきました。当日は、地域福祉の発展に尽力された4個人・3団体の方々への表彰状贈呈式を行い、また、福祉事業所で作られたハンドメイド品の展示・販売や、福祉映画の上映も行いました。

今年度の「福祉のつどい」では、映画を通じた取組として、近年社会的な問題として取りざたされているヤングケアラーを題材とした映画『猫と私と、もう一人のネコ』を上映しました。参加者からはたくさんのご感想をいただき、福祉への関心を一層深める機会となりました。

地域福祉の発展のため献身的に尽力された個人や団体に表彰状・感謝状をお贈りしました。

【表彰状】

特定非営利活動法人ほらんたす

(鶴岡地域)

平成二十年の設立から、ボランティア人材、ボランティアリーダー育成を含む人づくり、まちづくりの活動を基本に、その時代の福祉課題等に合わせた活動や様々な団体と連携した取組は庄内地域や

山形県内での地域福祉の充実に貢献されている。

しゃべってほっとの会(羽黒地域)

平成二十年の設立から、一人暮らし高齢者等で話し相手を求めている方の自宅を訪問して、傾聴活動や困りごと等を民生委員や関係部署につなぐとともに、平成二十三年よりお茶のみサロン「はっぴー広場」を開催し参加者に寄り添った支援活動に取組むなど、地域福祉の充実に貢献されている。

大川 幸雄氏(鶴岡地域)

平成十六年より、第五学区社協の理事、事務局長、副会長として学区社協の運営に尽力された。退任後も学区地区社協の評議員、ボランティア協議会のボランティアとして関わりを持つなど、地域福祉の充実に貢献されている。

※当日はご都合により欠席

佐藤 芳彌氏(朝日地域)

平成十九年より、ボランティア団体「ほほえみ桜の会」の幹事、会長として朝日地域に暮らす交通困難者の通院等を支援する送迎ボランティア活動の推進を図りながら、新たに「ほほえみ桜の会」による地域ぐるみの配食事業を立ち上げた。また、アルミ缶収集ボランティア「さわやかなの会」にも所属し十八年活動を続けるなど、地域福祉の充実に貢献されている。

【感謝状】

♥チューリップサークル(鶴岡地域)

平成二十五年に会を設立。生け花活動をメインに活動をしなが、障害者施設の利用者と積極的に関わりを持ち、身近な花で癒しとコミュニケーションを図りながら活動を続けるなど、地域福祉の充実に貢献されている。

遠藤 麗子氏(鶴岡地域)

平成二十三年より、由良社会福祉協議会理事、副会長として地区社協の運営に尽力し、福祉座談会の開催や、支え合いに関する意識調査などのアンケートを実施し、由良社会福祉協議会が取組むべき重点課題をまとめた。また、会食・配食交流事業の中心的な役割を担い活動を行うなど、地域福祉の充実に貢献されている。

※当日はご都合により欠席

五十嵐 仁氏(鶴岡地域)

平成二十三年より、「かたぐるまの利用者」に喜んでもらいたい。」という思いで、毎年多くのクリスマスケーキを寄贈され物心両面で、かたぐるまを支えていただいている。



鶴岡福祉バス予約会のお知らせ
(令和7年4月~6月分)

鶴岡福祉バスを予約するための予約会は
事前申込が必要です。

- 受付期間** 令和7年2月14日(金)から2月25日(火)まで
9:00~17:00(土日除く)
※受付順番によって優位になることはありません。
※FAXや郵送での受付も可能ですが、土日の受付分は翌平日のご連絡になります。
- 対象期間** 令和7年4月~6月
(期間内で1団体1回の予約ができます。)
- 利用対象** 旧鶴岡市区域に住所を有する団体
- 予約会** 令和7年3月4日(火) 10:00~12:00
- 場所** 鶴岡市社会福祉協議会
本部事務局第3会議室(鶴岡市山王町13-26)
- 申込み・問合せ**
鶴岡市社会福祉協議会総務課 福祉バス担当
☎26-7815 FAX26-7837(申請書は同所にあります。)

食品でつなく助け合い **フードドライブ**

「フードドライブ」とは、ご家庭に眠っている食品を持ち寄り、様々な事情で生活にお困りの方に役立てていただく支援活動です。市内9つの社会福祉法人では、9法人合同の地域貢献の取組として、年末にかけて支援が必要な方に向けたフードドライブを実施しました。頂きました食品の数だけ想いがあり、そうした想いに支えられて、フードドライブの活動は成り立っています。

活動から4年目を迎えるフードドライブは今年度より運用を見直し、市社協が行う相談支援の中で、食品の支援(フードバンク)を必要とする方々へ、その想いと共に提供していきます。

【参加9法人】

- ・思 恩 会
- ・恵 泉 会
- ・櫛 引 福 寿 会
- ・羽 黒 百 寿 会
- ・あ つ み 福 社 会
- ・一 幸 会
- ・朝 日 ぶ な の 木 会
- ・ふ じ の 里
- ・鶴岡市社会福祉協議会



頂いた食品の一部

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
(令和6年11月1日から令和6年12月31日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎本部事務局へ
・工藤 七三郎 様 手作り門松 一対

◎鶴岡福祉センターへ
・真言宗豊山派山形二支所仏教青年会 様 100,791円

・真如苑 庄内支部 様 200,000円
・鶴岡東高等学校 様 11,000円

◎藤島福祉センターへ
・藤島地域婦人会有志 様 5,000円
・(株)大沼工務店 様 10,000円

◎羽黒福祉センターへ
・広瀬地区自治振興会 様 食料品 80点

◎櫛引福祉センター、地域包括支援センターくしびきへ
・平藤 久喜 様 50,000円

★各事業所へ

・(株)シンクロン 様 机 4台、椅子 2脚
ソファ 4脚、書類ケース 1台

★鶴岡地域生活自立支援センターくらしスへ
・匿名 様 10,000円
・鈴木 貞子 様 20,000円

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ
・山形県ヤクルトレディ親交会・山形県ヤクルト協会 様 50,000円

・スマイルサンタクロース 様
クリスマスケーキ 7台

・(株)産直あぐり 様 リンゴジュース 9本

★デイサービスセンターなえづへ
・(株)産直あぐり 様 リンゴジュース 9本

★デイサービスセンターたかだてへ

・(株)ファミリーマート 様、ファミリーマート鶴岡三瀬店・ファミリーマート鶴岡水沢店・ファミリーマート鶴岡大山店・ファミリーマートあつみ温泉インター店 様
クリスマスケーキ 4ホール、フライドチキン 33個

★デイサービスセンターとよらへ
・工藤 七三郎 様 手作り門松 一対

★デイサービスセンターおおやまへ
・工藤 七三郎 様 手作り門松 一対

★高齢者福祉センターおおやまへ
・匿名 様 介護用品 2点
・森林牧場 佐藤 節子 様 リンゴ 4ケース

★グループホームはちもりへ
・佐々木 秀子 様
タオル 70枚、紙コップ、人形等

★温海デイサービスセンター愛寿園へ
・道の駅あつみ しゃりん 様 30,000円

★第四学区学童保育所分館へ
・渋谷 瞳 様 ヤマハ電子ピアノ 1台

★鶴岡市中央児童館へ
・鶴岡東高等学校奉仕部 様
ちいかわの壁面飾り

★くしびき保育園へ
・(株)ネット清川屋 様
「山形の雪どけ」他お菓子 100個

・田川建設労働組合櫛引支部 様 20,000円

★櫛引地域保育園、各学童保育所へ
・森林牧場代表 佐藤 久一 様
サッカーボール 5個、りんご 35kg

★もみじが丘へ

・(株)産直あぐり 様 リンゴジュース 11本
・マックスバリュあつみ店 様
クリスマスケーキ 6台

・ふるさと温海会 様 71,000円

★櫛引すこやかセンターへ
・(株)産直あぐり 様
ラ・フランス (5kg入り) 2箱
りんご (5kg入り) 2箱
手作り門松 一対

・工藤 七三郎 様

★フードバンクへ
・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)山形燦活動 様 食料品 116点

・JA庄内たがわ女性部 様
食料・日用品 225点、玄米 30kg

・JA鶴岡女性部 様
食料・飲料品、生活用品 167点

・山形県社会福祉事業団 庄内地区職員一同 様
食料・飲料品、生活用品 116点

・生活協同組合共立社鶴岡生協 様 食料品 300点

・松本 利枝子 様 20,000円、お米 5kg、食料品 3点

・鶴岡致道大学 様 食料品

★特別指定寄附(作業所月山へ)
・山形県ヤクルトレディ親交会・山形県ヤクルト協会 様 50,000円

★特別指定寄附(令和6年7月大雨災害義援金として酒田市へ)
・昭和43年度大泉中学校卒業同窓会 様 12,684円

おだがいさま

第116号
令和7年2月1日発行
発行部数 47,600部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

本部事務局 鶴岡市山王町13番36号

TEL 0235-26-7815

FAX 0235-26-7837

ホームページ <https://www.shk01.jp/>



鶴岡福祉センター

地域福祉課 TEL 26-9222

生活支援課 TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114

